

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	ディグ・スマイル・高崎東教室			公表日	2024 年 09 月 30 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		移転後は、支援室も広くなりそれぞれが自分の活動場所を持っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	他教室との連携で補っています。	仕方ない部分はありませんが、やや少ないと思います。個別対応になるお子様の利用時は配置数が適切でないように感じます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		玄関にはスロープと手すりがあり、支援室の段差にはクッションを付けています。支援室は、学習・作業・運動する場で分けられています。	個別の対応に違いがあることがあり、それを（お子様自身が）理解できずに不満と思う時がある様子です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	掃除用のチェック表を用いて管理しています。	おもちゃ置き場や台所が多少雑然としてしまっていますが、こまめに整頓を心掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		1階と2階に静養室として使用できる部屋を設けています。	1人が広く使うように見えるとき、「なぜか」または「その子に必要」の理由が子供たちに伝わり切れていないときがあるようです。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		朝礼・終礼時に前日の振り返りと当日の目標について意見交換・共有をしています。	非常勤の職員を含め、指導方針と根拠をもっと語れる時間があるとよいです。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年に1~2回のアンケートにてご意見を頂いています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	朝礼、終礼でそれぞれの意見を発信・共有する場を設け、取り入れています。	自由に意見が言える機会が大切だと思います。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		定期的に支援に関する研修があります。		
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		カレンダーや希望表で周知しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		体験時に出勤していた職員の意見も参考にしています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		体験時に出勤していた職員の意見も参考にしています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		回覧や検討会議を実施しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		施設では検査等は行っていませんが、日々の支援の中で常に行動を観察し、一人ひとりの発達段階について職員間で共有しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		他職員の意見や相談員さんなどの外部の意見も参考に「どのように支援するか」を考えて設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		前日に職員の間で話し合いを行って決定し、当日も天候などに合わせて職員間で再確認する時間を設けています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		日々移り変わるお子様達の興味を把握し、好みの活動が出来るようプログラムを計画しています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		お子様の発達段階やその日の心身の状態に合わせて、必要に応じて個別対応をしています。またタイミングを見てお友達とかかわりがもてるよう支援しています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日、その日の支援とスケジュールやプログラムについて打ち合わせを行っています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		記録作業の際に、気づいたことの共有を行い、翌日の支援に役立てています。		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		プログラムの様子や支援中の他児との関わりについて記録を残し、活動グループの組み合わせを考える際に参考にしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		日々の支援で行動観察を行い、お子様の様子について保護者様と意見交換をし、必要に応じて支援計画の見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4		毎日のスケジュールを組む際に、2〜4つの活動を入れられるよう計画を立てています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		自分で遊ぶものを決めて活動できる時間を設けています。また、おやつも複数選択肢を用意し、自分で組み合わせさせて選べるようになっています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		会議が行われる際は、職員間で対象のお子様に対して情報共有を行っています。	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	必要に応じて、担当医に施設での様子を書面でお伝えしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		送迎遅延などにはすぐに学校に連絡をするようにしています。下校時刻などの確認はなるべく保護者様と連絡を取るようになっています。	お子様の引き渡し対応や下校時刻の確認などについて非協力的な学校が少々あります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			保育所や児童発達支援事業所からの共有は少なく、相談員さんからの共有が多いです。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			まだ、該当する利用者がいないが、必要に応じて積極的に関連施設と連携を取っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		問題が発生した際は、連携が出来るようコミュニケーションを取っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		土曜日や長期休暇には積極的に公共施設を利用して地域の子供たちとの交流を図っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		参加する機会が少ないため機会を見つけていきます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		帰りの送迎時に保護者様にその日の様子を伝え、発達状況や心身の様子について共有をするようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		現在は家族に向けてのプログラムはありません。ご要望があれば前向きに検討します。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明を行っています。	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		作成前にアセスメントやモニタリング等で確認を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		計画書を提示しながら説明をし、同意を得てからサインをして頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	お問い合わせがあれば面談の機会を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		現在はありません。ご希望があれば保護者会等交流する機会を前向きに検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		早急に対応し、記録に残すようになっています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		ブログを定期的に更新し活動の様子を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の書類は鍵付きロッカーにて保存しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	情報や出来事について共有する時がネガティブな表現にならないように配慮しています。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	夏には、お友達やご家族が参加できる納涼祭を行っています。	児童館などに出向く事はあるが招待をする行事は少ないです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		委員会を設置し、月一回事例検討や研修を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		毎月、避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		入所時に服薬情報を確認しています。利用時間帯に服薬の必要がある児童は、保護者様に服薬の時間について共有を頂き、全職員が把握できるようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アレルギーの情報を保護者様から共有して頂き、一覧にしてキッチンなどおやつ準備の際に目にみえるところに掲示しています。また、お子様とも食べるものをよく確認して提供しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		研修をしたり、全員が安全意識をもって支援をしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時に説明を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		小さなことでも記録を残し、教室全体で周知をしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		委員会を設置し、月一回事例検討や研修を行っています。	職員のメンタルケアや安心して業務に携われるように面談確保をしています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束を行った場合は記録に残しています。		